

平成22年度法定検査結果について

公益財団法人 鹿児島県環境検査センター
検査部 検査2課 課長 坂元修一

1 使用開始検査結果(法第7条)

(1) 地区別検査基数及び判定結果(旧保健所毎)

地区	イ		ロ		ハ		合計
	基数	割合	基数	割合	基数	割合	
鹿児島市	1,236	94.6%	44	3.4%	26	2.0%	1,306
指宿	159	96.4%	3	1.8%	3	1.8%	165
加世田	537	96.4%	12	2.2%	8	1.4%	557
伊集院	310	94.8%	10	3.1%	7	2.1%	327
川薩	445	96.9%	10	2.2%	4	0.9%	459
宮之城	182	95.8%	1	0.5%	7	3.7%	190
出水	463	95.5%	13	2.7%	9	1.9%	485
大口	178	95.7%	5	2.7%	3	1.6%	186
加治木	406	95.8%	16	3.8%	2	0.5%	424
隼人	703	91.8%	53	6.9%	10	1.3%	766
志布志	554	96.0%	18	3.1%	5	0.9%	577
鹿屋	1,074	96.1%	32	2.9%	12	1.1%	1,118
西之表	165	97.6%	3	1.8%	1	0.6%	169
屋久島	109	98.2%	0	0.0%	2	1.8%	111
名瀬	130	86.1%	5	3.3%	16	10.6%	151
徳之島	216	89.6%	6	2.5%	19	7.9%	241
計	6,867	95.0%	231	3.2%	134	1.9%	7,232

*区分のイ・ロ・ハは、判定区分である。

イ：適正である。

ロ：おおむね適正であるが、一部改善することが望ましい。

ハ：不適正であり、改善を要すると認められる。

(2) イ・ロ・ハの推移

年度	イ		ロ		ハ		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
平成18年度	8,760	91.7%	536	5.6%	261	2.7%	9,557
平成19年度	9,000	93.6%	360	3.8%	252	2.6%	9,612
平成20年度	8,580	95.0%	291	3.2%	166	1.8%	9,037
平成21年度	8,029	95.3%	283	3.4%	114	1.3%	8,426
平成22年度	6,867	95.0%	231	3.2%	134	1.8%	7,232

(3) ロ・ハ判定の主な指摘項目及び原因区分

外観番号	項目	合計	原因区分			
			工事	構造	管理	その他
	設置の状況	73	42	5	1	25
4	漏水	6	2			4
26	流入、放流管渠の設置	33	27	1		5
28	増改築等	10	2			8
	その他	24	11	4	1	8
	設備の稼動状況	11		3	2	6
30	送風機	5				5
	その他	6		3	2	1
	水の流れ方の状況	17	3	1	1	12
55	その他の単位装置の水位、水流	3				3
62	消毒槽の汚泥、スカム	4				4
66	汚泥の流出状況	3				3
	その他	7	3	1	1	2
	使用の状況	7				7
67	油脂類の流入	4				4
	その他	3				3
	消毒の実施状況	78			17	61
73	消毒剤の有無	54			16	38
74	処理水と消毒剤の接触	24			1	23
	水質の状況	199				199
他	水質悪化(BOD、透視度)	199				199
	保守点検、清掃の実施状況	79				79
他	無管理	78				78
	その他	1				1

項目	指摘所見	項目	指摘所見
漏水	流入管が途中で破損し漏水	送風機	送風機の電源プラグ抜け、ばつ氣停止
	流入管の接続不良により漏水		電源が切れ送風機が停止
	放流管接続部より漏水		浮上ろ過槽が目詰まり
	放流升漏水		揚水量と移送量のバランスが悪い
流入、放流管渠の設置	一部排水が未接続	消毒槽の汚泥、スカム	消毒槽にスカム流出
	台所排水が沈殿升		スカム流出
	適正な場所に流入管の点検升なし		油脂類の流入多い
	放流管勾配不良		消毒剤の有無
増改築等	建物の用途が、届出と異なっている	処理水と消毒剤の接触	消毒薬が袋に入ったままで消毒未実施
	設置届と使用状況違う		消毒薬が筒内で詰まりにより消毒されず
	設置届出以外の建物も接続されている		消毒薬との接触不十分
	他の施設接続		BOD超過
			無管理

使用開始検査の結果、適正率は近年90%以上と高い水準で推移しており、平成22年度は95.0%であった。

ロ・ハ判定の指摘項目の中で

- 設置の状況の中では、「流入、放流管渠の設置」「増改築等」「漏水」の順に指摘が多かった。
 「流入、放流管渠の設置」では一部排水が未接続や必要個所に升がなかった。
 「増改築等」では届出と用途が違ったり、届出以外の施設の接続などがあった。
 「漏水」では本体の漏水は1件もなく、流入升や放流升の漏水がほとんどであった。
- 設備の稼動状況では、「送風機」の指摘が多く、プラグ抜けや電源切れがあった。
- 水の流れ方の状況では、「消毒槽の汚泥、スカム」「その他の単位装置の水位、水流」「汚泥の流出

状況」の順に指摘が多かった。

「その他の単位装置の水位、水流」では浮上ろ過槽の目詰りや揚水量と移送量のバランスが悪く一次処理槽の水位上昇が見られた。

- ・ 使用の状況では、「油脂類の流入」の指摘が多かった。
- ・ 消毒の実施状況では、「消毒剤の有無」「処理水と消毒剤の接触」の順に指摘が多かった。

「消毒剤の有無」では消毒薬切れがほとんどであった。

- ・ 水質の状況では、「水質悪化(BOD、透視度)」の件数が199件で検査基数の2.8%であった。
- ・ 保守点検、清掃の実施状況では、「無管理」の件数が78件で検査基数の1.1%であった。

2 定期検査結果(法第11条)

(1) 地区別検査基数及び判定結果(旧保健所毎)

地区	イ		ロ		ハ		合計
	基数	割合	基数	割合	基数	割合	
鹿児島市	7,525	90.3%	435	5.2%	377	4.5%	8,337
指宿	3,534	94.2%	133	3.5%	85	2.3%	3,752
加世田	4,737	96.4%	113	2.3%	62	1.3%	4,912
伊集院	4,550	91.9%	199	4.0%	201	4.1%	4,950
川薩	4,907	92.9%	231	4.4%	142	2.7%	5,280
宮之城	1,600	92.8%	71	4.1%	54	3.1%	1,725
出水	4,873	92.9%	159	3.0%	214	4.1%	5,246
大口	1,804	90.7%	107	5.4%	77	3.9%	1,988
加治木	5,844	93.6%	288	4.6%	110	1.8%	6,242
隼人	7,270	92.1%	387	4.9%	233	3.0%	7,890
志布志	6,592	94.7%	272	3.9%	96	1.4%	6,960
鹿屋	10,218	93.6%	455	4.2%	242	2.2%	10,915
西之表	1,646	95.8%	34	2.0%	39	2.3%	1,719
屋久島	1,131	95.9%	30	2.5%	18	1.5%	1,179
名瀬	1,752	84.6%	115	5.6%	203	9.8%	2,070
徳之島	1,282	87.2%	80	5.4%	108	7.3%	1,470
計	69,265	92.8%	3,109	4.2%	2,261	3.0%	74,635

*区分のイロハは、判定区分である。

イ: 適正である。

ロ: おおむね適正であるが、一部改善することが望ましい。

ハ: 不適正であり、改善を要すると認められる。

(2) イ・ロ・ハの推移

年度	イ		ロ		ハ		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
平成18年度	31,867	90.4%	1,744	4.9%	1,640	4.7%	35,251
平成19年度	39,907	92.5%	1,656	3.8%	1,598	3.7%	43,161
平成20年度	52,138	93.7%	1,674	3.0%	1,826	3.3%	55,638
平成21年度	62,840	93.8%	2,162	3.2%	2,003	3.0%	67,005
平成22年度	69,265	92.8%	3,109	4.2%	2,261	3.0%	74,635

(3) ロ・ハ判定の主な指摘項目及び原因区分

外観 番号	項目	合計	原因区分			
			工事	構造	管理	その他
	設置の状況	1,684	85	1,210	3	386
4	漏水	278	9	208		61
14	接触材、ろ材等の固定	343		328	1	14
23	隔壁、仕切板、移流管の固定	459	3	448		8
	その他	604	73	226	2	303
	設備の稼動状況	1,873		56	18	1,799
30	送風機	1,158		1	5	1,152
32	ばつ気装置	126		8	5	113
38	制御装置	350		13		337
	その他	239		34	8	197
	水の流れ方の状況	800	10	35	26	729
43	流入管渠	21	4			17
44	放流管渠	150	6	1	1	142
52	生物ろ過槽、担体流動槽の水位、水流	52		4	1	47
58	腐敗室、沈殿分離槽、嫌気ろ床槽の汚泥、スカム	114			1	113
62	消毒槽の汚泥、スカム	140			8	132
66	汚泥の流出状況	99			6	93
	その他	224		30	9	185
	使用の状況	118	2			116
67	油脂類の流入	56				56
69	異物の流入	14				14
70	流入汚水量、洗浄用水等の使用	47	2			45
	その他	1				1
	消毒の実施状況	1,196		2	81	1,113
73	消毒剤の有無	1,092			67	1,025
74	処理水と消毒剤の接触	104		2	14	88
	水質の状況	1,765			11	1,754
他	水質悪化(BOD、透視度)	1,765			11	1,754
	保守点検、清掃の実施状況	1,193				1,193
他	無管理	1,181				1,181
	その他	12				12

項目	指摘所見	項目	指摘所見
漏水	漏水(本体)	流入管渠	流入管に汚物詰まり
	流入管が途中で破損し漏水	放流管渠	排水状態不良
	流入管点検升漏水		蒸発散装置の機能低下冠水
	放流升漏水	生物ろ過槽、担体流動槽の水位、水流	ろ過槽が目詰まりし、水位上昇
	放流ポンプ槽漏水	腐敗室、沈殿分離槽、嫌気ろ床槽の汚泥、スカム	沈殿分離室にスカム多量発生
接触材、ろ材等の固定	嫌気ろ床槽のろ材が浮上		嫌気ろ床槽にスカム多量発生
	接触ばつ気室(槽)の接触材が浮上	消毒槽の汚泥、スカム	消毒槽にスカム流出
	担体が流出	汚泥の流出状況	スカム流出
隔壁、仕切板、移流管の固定	沈殿分離室と接触ばつ気室の仕切壁が破損	油脂類の流入	油脂類の流入多い
	沈殿分離室の流出管なし	異物の流入	異物の流入多い
	沈殿室(槽)のスカムバッフルない	流入汚水量、洗浄用	流入汚水量過多
	接触ばつ気室と沈殿室の仕切板が破損	水等の使用	流入負荷過多
送風機	送風機の故障、ばつ気停止	消毒剤の有無	消毒薬切れ
	送風機のベルト外れ、ばつ気停止	処理水と消毒剤の接觸	消毒薬が筒内で詰まりにより消毒されず
	送風機電源切ればつ気停止		消毒薬との接觸不十分
ばつ気装置	散気管が目詰まりし、攪拌水流が不良	水質悪化	BOD超過
	溶存酸素量が不足		
制御装置	送風機の自動逆洗装置が故障	無管理	無管理
	自動逆洗用コントロールボックスが故障		

定期検査の結果、適正率は近年90%以上と高い水準で推移しており、平成22年度は92.8%であった。
ロ・ハ判定の指摘項目の中で

- ・ 設置の状況では、「隔壁、仕切板、移流管の固定」「接触材、ろ材等の固定」「漏水」の順に指摘が多かった。
 - 「隔壁、仕切板、移流管の固定」では仕切壁の破損や流出管及びスカムバッフルがないものがあった。
 - 「接触材、ろ材等の固定」では嫌気ろ床や接触ばつ気室のろ材の浮上、担体の流出があった。
 - 「漏水」では本体の漏水、流入升や放流升の漏水があった。
- ・ 設備の稼働状況では「送風機」「制御装置」「ばつ気装置」の順に指摘が多かった。
 - 「送風機」では送風機の故障やベルト切れがあった
 - 「制御装置」では自動逆洗装置の故障があった。
 - 「ばつ気装置」では散気管の目詰まりや溶存酸素量の不足があった。
- ・ 水の流れ方の状況では、「放流管渠」「消毒槽の汚泥、スカム」「腐敗室、沈殿分離槽、嫌気ろ床槽の汚泥、スカム」「汚泥の流出状況」「生物ろ過槽、担体流動槽の水位、水流」「流入管渠」の順に指摘が多かった。
 - 「放流管渠」では排水不良や蒸発散装置の機能低下があった。
 - 「生物ろ過槽、担体流動槽の水位、水流」ではろ過槽の目詰りがあった。
 - 「流入管渠」では汚物の詰まりがあった。
- ・ 使用の状況では、「油脂類の流入」「流入汚水量、洗浄用水等の使用」「異物の流入」の順に指摘が多かった。
- ・ 消毒の実施状況では、「消毒剤の有無」「処理水と消毒剤の接触」の順に指摘が多かった。
 - 「消毒剤の有無」では消毒薬切れの指摘がほとんどであった。
- ・ 水質の状況では、「水質悪化(BOD、透視度)」の件数が1,765件で検査基数の2.4%であった。
- ・ 保守点検、清掃の実施状況では、「無管理」の件数が1,184件で検査基数の1.6%であった。